

デイ便り



真っ青な秋空の下、 紅葉を見に出かけました

日増しに秋が深まる 11月7日、デイでは紅葉を見にドライブに出かけました。公園では落ち葉を見ては「ええ色やなあ」と感嘆したり触ってみたりして楽しみました。お帰りの送迎時に「久しぶりに紅葉見に行けて良かった、きれいやった」と嬉しそうに話されていました。

<皆さまへ>

特養わかばは、地域に開かれた事業運営を図る為、利用者家族や地域住民・関係者の方に参加していただき、運営推進会議をおおむね2ヶ月に1回開催します。会議では、事業所活動の報告を行い、活動への意見や要望をお聞きします。8月は利用者様の生活や行事などの取組み、10月はわかばでの介護事故予防の取組みを報告しました。会議の内容は事業所にある「自由閲覧ファイル」に収録していますのでご覧下さい。

11/10 看護介護活動研究集会に参加して



わかばが所属している和歌山民医連(病院、診療所、薬局、介護事業所が加盟)は、年に一度看護と介護職員の活動交流集会があります。日々の取り組みを発表し、内容を確認し合い学びを深める場です。今回は「あれ?おかしい?」気づく視点を育てよう、というテーマで6つの職場から発表がありました。

社会問題化するゴミ屋敷にヘルパーが関わるケースでは、考え悩みながら支援を実践している報告、また認知症の基本的な接し方の手法をみんなで学習し取り組んでいる報告など、他の職場での頑張りが聞ける良い機会となりました。日々忙しく業務をこなすのが大変な状況下ですが、「あれ?」と感じた事は仲間と共有し、課題はなにか、背景には何があるのかを話し合う事が大切だと感じました。

また背景を探っていく中で、今の情勢ではどうしようもないことにつきあたることがあります。そんな矛盾を声に挙げ活動出来ればと思いました。立ち止まり、振り返る時間が持てた交流集でした。(介護福祉士 宮根 かをる)



10月の喫茶

秋らしくさつま芋のケーキとムースです/管理栄養士

編集後記

平成最後の年末になりましたが、皆さまにとって平成の30年間はどのような時代だったでしょうか。世の中は大きく変化し、生活用品の機械化・小型化やインフラの整備がどんどん進み、大変便利な時代となりました。しかし、便利⇨幸せなのかとふと感じることがあります。暮らしが便利になっていく一方で他人との関わりが希薄になり、昔ながらの義理人情が少なくなっているようで寂しくなります。特に年賀状を書く人が減っていることが。時代が流れても日本人が元来持っている思いやりの精神は次の時代にもしっかりと引き継いでいってほしいと願います。(T)